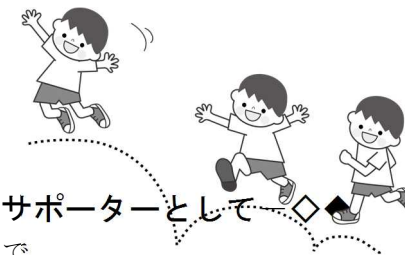


# 家庭学習の手引き



## ◆◆保護者の方へのお願い—家庭学

子どもたちが学び続ける習慣を身に付けるために、保護者の方のサポートはたいへん有効です。低学年から高学年までの間で、どのような内容を取り組んでいくのか、本紙を参考に見てみてください。また、学習としてだけでなく、子どもたちとコミュニケーションをとる時間としても、大事にしていきたいです。

## 習のよきサポーターとして

そこで、ご家庭でも、次の5つの内容を大切にしてください。

### ① 決まった時間に 毎日こつこつ

学校で学習したことを復習したり、漢字や計算を繰り返し練習したりするなど、毎日続けることで習熟・定着を図ることができます。習い事や予定に合わせ、曜日によって時間を組んでもいいでしょう。

### ② 短く集中！「ながら」はしない！

家庭学習の時間は、【学年×10分】が目安です。TVやゲーム、音楽など子どもたちの「したいこと」はたくさんあります。「ながら勉強」せず、メリハリをつけた学習で、集中力や我慢強さ、根気も身に付けましょう。

### ③ 整理・整頓！場づくり大事！

学習に必要なものや気の散るようなものが近くにあっては、子どもたちも学習に集中できません。安心して、落ち着いて学習できる環境づくりをサポートしてあげてください。

### ④ がんばりを認め 次の一歩への励まし

子どもたち一人ひとりによって、がんばりは違います。前に進もうというがんばりを認めながら、次に向かう励ましの言葉をかけてあげてください。経験の差がある子どもと大人では、問題の見え方・感じ方は違うものです。

### ⑤ 身体は正直 規則正しい生活リズム

子どもたちが生き生き元気に学習したり、みんなと遊んだりするためには、健康な身体が必須です。「早寝・早起き・朝ご飯」を合言葉に、ご家庭でも生活リズムを整えるようにしてください。各ご家庭の事情があるかもしれませんが、7時間以上の睡眠時間を心がけるようにしましょう。

## ジャンプ：自学自習の習慣を身に付ける（高学年）

### 【宿題+音読 10分+自分の課題（復習・予習）】

- 読む 文章のまとめりや場面の移り変わりがわかるように読む
- 書く 字形・送り仮名に注意した漢字の復習/同音異義語の言葉の使い分け資料をもとに自分の考えをまとめる
- 調べる 本や辞書、タブレットで分からない言葉や興味のあることを調べたりまとめたりする
- 計算 正確で速い四則演算（整数・小数・分数）  
考えた筋道を絵や図、言葉で表して考える

※教科書やノート、プリントなどを参考にして、自分で工夫して学習しましょう。

## ステップ：自主的な学習習慣を身に付ける（中学年）

### 【宿題+音読 10分+自分の課題】

- 読む 登場人物の気持ちや場面の様子がわかるように読む
- 書く 漢字の復習/ローマ字の書き方/原こう用紙を使った書き方
- 調べる 本や辞書、タブレットで分からない言葉や興味のあることを調べる
- 計算 たし算、ひき算、かけ算、わり算を正しく、速く計算する  
文章問題から、何算の式で求められるか考えて、答えを求める

## ホップ：基本的な学習習慣を身に付ける（低学年）

### 【宿題+音読】

- 読む 「、」や「。」に気をつけて、大きな声ではっきりと正しく読む
- 書く 書き順や形（止め・はね・はらい）に気をつけて、ていねいに書く  
ひらがな、カタカナ、漢字の練習
- 調べる 本やタブレットを使って、興味のあることを調べる。
- 計算 たし算、ひき算、九九を正しく、速く計算する/文章問題に挑戦する